

第13回大宮区民会議(豊島区池袋地域視察) 議事録

1. 日時 平成30年10月17日(水) 12時15分～17時00分
2. 会場 大宮区役所1階多目的室→豊島区役所および池袋地域視察
3. 出席者 18名
(委員) 12名
池上明彦副会長、横山千恵子副会長
新井陽子委員、井上恵美子委員、大野敏子委員、武田千春委員、登坂篤委員、
野瀬加代子委員、藤田信一委員、星野美子委員、松岡忠男委員、松本よしの委員
(欠席委員) 6名
花俣淳一会長、齋藤泰雄委員、仙石玲委員、小倉京子委員、田代秀一委員、村上隆子委員
(事務局) 4名
佐藤(コミュニティ課長)
粕谷、佐伯、加藤(コミュニティ課)
(コンサルタント) 2名
森、白木(㈱社会構想研究所)
4. 内容
 - (1) 豊島区東池袋、旧造幣局地区防災公園予定地を車内より視察
 - (2) 豊島区新庁舎の視察および区役所・池袋再開発に関する担当部署(総務課)の説明と質疑
 - ①10階屋上緑化スペース(豊島の森)視察
「先進的な環境対策モデルとしての新庁舎」を象徴する屋上緑化の実現→「すべて豊島の野生種植栽」による「昔」の再現と最新環境技術(エコヴェール=脱CO₂・太陽光発電、エコヴォイド=1～9階の大吹き抜けによる自然採光・自然換気システム、エコミューゼ=防災・健康・環境に軸足を置いた区民活動の拠点)とが調和した庁舎
 - ②新庁舎および地区再開発の概要説明と質疑のまとめ
 - * 平成17年頃より人口の都心回帰、在日外国人の増加等を背景に人口増が顕著に。
 - * 人口約28万人、面積13.01km²=人口密度全国1位
 - * 池袋駅は乗降客数国内2位
 - * 持続発展都市をめざし「国際アートカルチャー都市」、「女性にやさしいまちづくり」など区独自の政策を推進
 - * 市街地再開発事業および旧区役所跡地等区所有地(定期借地権)を活用した起債・借入に依存しない再開発手法の採用により低層密集住宅地の解消、安全で快適な街並づくりが可能になった。
 - * 小規模庁舎が分散する旧庁舎の不十分な住民サービスを改善するため、新庁舎は住専地域における容積率を最大化する(800%)ことによって、可能な限り広いスペースを確保した。併せてITシステムを導入することによって各種申請を統合処理できる

総合窓口＝ワンストップシステムを目指しているが、現状では、来庁者個々への対応をよりきめ細かく行うため、フロアマネージャーを配置している。また、福祉や税務など個人情報の保護が求められる案件に対応するため、個別相談室を複数配置している。

- * 新庁舎では年末年始を除く土曜・日曜を通年開庁し(年間 345 日)、住民サービスの向上を図っている。

③南池袋公園を視察

新庁舎に近接し、2016年4月にリニューアルされた南池袋公園を参加者全員で訪れた。敷地 7,811 m²の中規模公園である同公園は、平日の日中であるにもかかわらず、住民の憩いの場として賑わいを見せており、来園者が思い思いにくつろぐ様子には都会のオアシスとして十分に機能していることが窺われた。とりわけ公園中央に広がる芝生は養生エリア以外開放され、立ち入り可能である。もちろん寝転がることもできる。また、芝生に面して飲食を提供する瀟洒なカフェレストランがあり、多くの客で賑わっていた。休日には店舗のテラス部分でも飲食を提供するがテントが設けられ、酒類も提供される。なお、カフェレストランに隣接して設置されたトイレは、公園管理規約に基づき、このカフェレストランが管理しているが、極めてクリーンに保たれていた。また、帰宅困難者対策備蓄倉庫も併設されており、大規模災害等が発生した場合の救援拠点としても備えられている。

④旧庁舎地区を車上から視察

2020年春に8つの劇場はじめ国際的な「文化にぎわい拠点」整備が予定されている旧庁舎エリアを車上より視察

以 上